ホリスティック企業レポート
クックビズ
6558　東証マザーズ

アップデート・レポート
2019年8月2日発行

一般社団法人　証券リサーチセンター

証券リサーチセンター
審査委員会審査済 20190730

Copyright© 2012 Stock Research Center. All Rights Reserved.　本レポートの権利は一般社団法人 証券リサーチセンターに属します。いかなる形でも無断での複写・転載・利用を禁じます

クックビズ（6558 東証マザーズ）

飲食業界に特化した人材紹介事業及び求人広告事業を手掛ける
増員や拠点拡大の効果による 19 年 11 月期の大幅増収増益計画に変更なし

アナリスト：佐々木 加奈
+81（0）3-6858-3216
レポートについてのお問い合わせはこちら
info@stock-r.org

＞ 要旨

◆ 事業内容

・クックビズ（以下、同社）は、飲食業界に特化した人材紹介事業及び求人広告事業、その他事業を行っている。主力は 08 年に開始した人材紹介事業で、同社の展開する求人情報サイト「cookbiz」に登録された求職者を、コンサルタントを通じて求人企業に紹介するサービスである。19/11 期第 2 四半期累計期間（以下、上期）の売上構成比は 63.3%である。

◆ 19 年 11 月期上期決算の概要

・19/11 期上期の売上高は前年同期比 24.6%増の 1,460 百万円、営業利益は同 129.5%増の 132 百万円であった。主力である人材紹介事業において、人件費や広告宣伝費の増加を増収効果で吸収してセグメント利益が大きく伸びた。同社は上期の計画を公表していないが、計画をクリアする結果となった模様である。

◆ 19 年 11 月期の業績予想

・19/11 期の会社計画は、売上高が前期比 22.4%増の 3,064 百万円、営業利益が同 53.6%増の 203 百万円である。積極的な採用に伴う人件費の増加、大規模な広告宣伝を行うことによる広告宣伝費の増加を売上増で吸収して大幅営業増益となる期初計画に変更はない。
・証券リサーチセンター（以下、当センター）では、会社計画を上回る 25.4%増収、78.0%営業増益予想を据え置いた。

◆今後の事業戦略と業績見通し

・同社は、事業規模拡大のため、人員の拡充、マッチング率の向上、求人広告掲載数の増加、商圏の拡大などに注力している。
・当センターでは、市場環境は同社にとって追い風であり、同社が飲食業界に特化して蓄積したノウハウを活かして事業規模を拡大し続けるのは可能であると考えている。20/11 期以降についても増収増益が続く業績予想を据え置いた。

【主要指標】

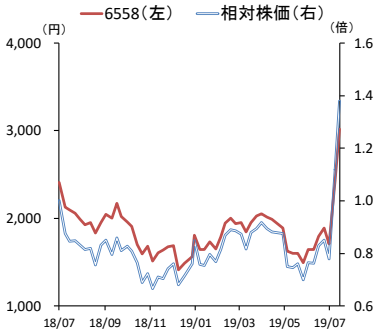
	2019/7/26
株価 （円）	3,020
発行済株式数 （株）	2,212,121
時価総額 （百万円）	6,681

	前期実績	今期予想	来期予想
PER （倍）	92.3	44.8	32.1
PBR （倍）	5.7	5.1	4.4
配当利回り（%）	0.0	0.0	0.0

【株価パフォーマンス】

	1カ月	3カ月	12カ月
リターン （%）	68.3	51.9	-15.4
対TOPIX（%）	66.2	56.4	-5.6

【株価チャート】



（注）相対株価は対TOPIX、基準は2018/7/13

【 6588クックビズ　業種：サービス業 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2017/11	2,066	67.7	266	370.8	266	253.3	171	230.0	94.5	448.4	0.0
2018/11	2,503	21.1	132	-50.2	137	-48.2	71	-58.5	32.7	528.4	0.0
2019/11 CE	3,064	22.4	203	53.6	205	49.1	124	75.4	57.3	–	未定
2019/11 E	3,140	25.4	235	78.0	237	73.0	149	109.9	67.4	587.2	0.0
2020/11 E	3,850	22.6	327	39.1	329	38.8	208	39.6	94.0	681.2	0.0
2021/11 E	4,650	20.8	442	35.2	444	35.0	282	35.6	127.5	808.7	0.0

(注) CE：会社予想、E：証券リサーチセンター予想、17年11月の上場時に300,000株の公募増資、17年12月に63,400株の第三者割当増資を実施

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

＞ 事業内容

◆ 飲食業界に特化した人材紹介事業及び求人広告事業

クックビズ（以下、同社）は、飲食業界に特化した人材紹介事業及び求人広告事業、その他事業を展開している（図表 1）。同社に子会社はなく、連結財務諸表は作成していない。

【 図表１ 】セグメント別売上高・利益

（単位：百万円）

セグメント		売上高				セグメント利益				
		17/11期	18/11期	19/11期 上期	前年同期比	17/11期	18/11期	19/11期 上期	前年同期比	セグメント利益率
報告セグメント	人材紹介事業	1,353	1,629	924	18.5%	306	252	200	89.2%	21.7%
	求人広告事業	694	854	520	35.3%	98	123	52	-22.7%	10.1%
	その他事業	18	19	16	98.1%	-11	-66	-23	-	-
合計		2,066	2,503	1,460	24.6%	393	310	229	63.0%	15.7%

（注）前年同期比は 18/11 期上期と 19/11 期上期との比較、セグメント利益率は 19/11 期上期のもの
セグメント利益合計は全社費用控除前（セグメント利益から全社費用を控除したのが財務諸表上の営業利益）
（出所）クックビズ有価証券報告書、決算短信、決算説明会資料より証券リサーチセンター作成

人材紹介事業は、同社が創業後間もない 08 年 3 月に開始した事業である。この事業では、1）人材紹介サービス、2）スカウトサービス「クックビズダイレクト」を展開している。

1）人材紹介サービス
同社サイトに登録した求職者を、コンサルタントを通じて求人企業に紹介するサービスである（図表 2）。求職者の集客は、求人情報サイト「cookbiz」を主体として行っており、キッチン・ホールスタッフを中心に、ソムリエ、パティシエなど専門的な職種も対象としている。また、飲食店舗の店長経験者や料理長、スーパーバイザー[注1]、本社管理職など、一定のスキルを必要とする人材を対象とした登録募集については「FOOGENT」サイトを併設し、登録人材層の拡大を図っている。

注 1）スーパーバイザー
飲食企業において、複数の店舗を管理・統括する責任者のこと。

2）スカウトサービス「クックビズダイレクト」
サイトの登録求職者に対し、求人企業が直接スカウトを行える仕組みを提供している。求人企業が同社のシステムを利用して、直接採用を働きかける他、求人企業のニーズに合わせて同社がスカウトをサポート・代行するサービスも提供している。

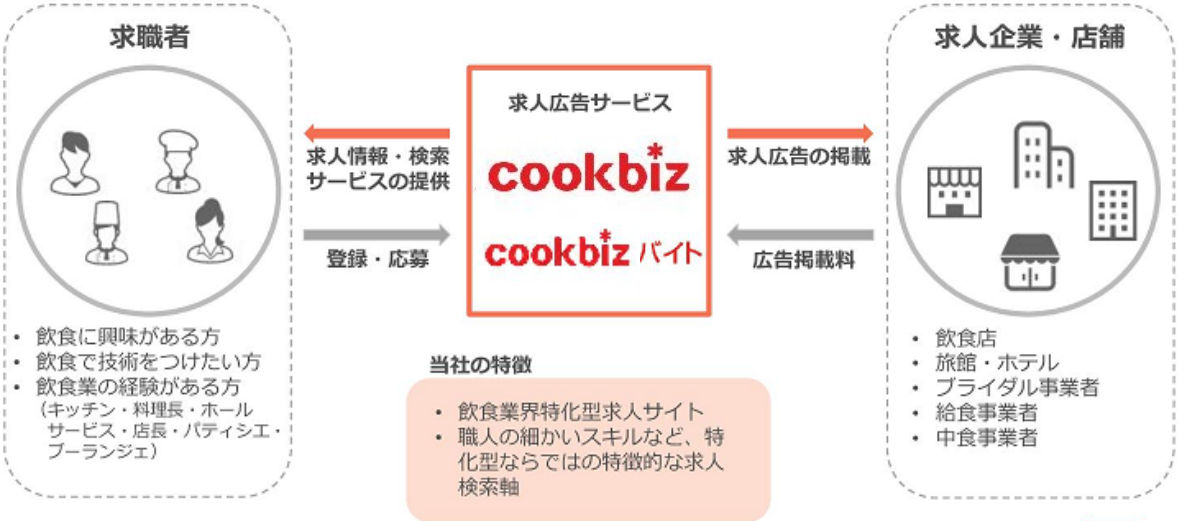
本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

【 図表 2 】人材紹介事業の仕組み

（出所）クックビズ成長可能性に関する説明資料

求人広告事業は、12 年 7 月に開始した事業で、人材採用を希望する企業の求人広告を、同社の運営する求人情報サイト「cookbiz」に掲載するサービスである（図表 3）。求人内容は社員が中心だが、現在は「cookbiz バイト」によりアルバイト求人も取り扱っている。求人企業のサービス利用に際しては、チケット制を採用しており、利用する企業はあらかじめチケットを購入し、チケットの有効期間内に求人広告を掲載するかたちとなる。

【 図表 3 】求人広告事業の仕組み



（出所）クックビズ成長可能性に関する説明資料

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

その他事業は、飲食事業者向けの研修サービス「クックビズフードカレッジ」、「Foodion（フージョン）」というソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）の運営を行っている。

「クックビズフードカレッジ」は、主に飲食店で働く人々の人材定着、育成支援を目的として 16 年に開始した有料の研修サービスで、マナー、ビジネススキル、クレーム対応、計数管理などの研修テーマを設定している。

「Foodion」は、料理人・シェフを中心とした SNS で、トップシェフのインタビュー発信や、店で提供される料理やまかない（飲食店でスタッフに提供される食事）等の写真を共有して会員同士が自由に意見交換できる場となっている。

◆ クックビズの特徴

同社の特徴として、1）飲食業界に特化し、幅広いニーズに対応していること、2）求職者及び求人企業の利便性を追求していること、3）特化型サービスの深化を図っていること、4）人材の定着までをトータルにサポートしていることが挙げられる。

1）飲食業界に特化し、幅広いニーズに対応していること
一般的な求人総合媒体が全職種を対象とするのに対し、同社は飲食業界に特化した展開をしており、求人職種はキッチン・ホールスタッフからパティシエ、店長経験者、料理長まで幅広い。このため、飲食業界における求職者及び求人企業のニーズにきめ細かく対応することが可能となっている。

2）求職者及び求人企業の利便性を追求していること
同社では、求人企業の採用担当者には専用のアプリを提供し、スマートフォンで求職者に対応することを可能にしている。また、求職者には面接マニュアル資料などを提供し、求職活動がスムーズに進むようにサポートしている。

3）特化型サービスの深化を図っていること
飲食業界に特化することで得たノウハウを活かし、各サービスの深化を図っている。一例では、求人企業及び求職者のニーズやマッチング実績をデータベース化し、紹介案件を自動抽出するシステムの構築などに取り組んでいる。

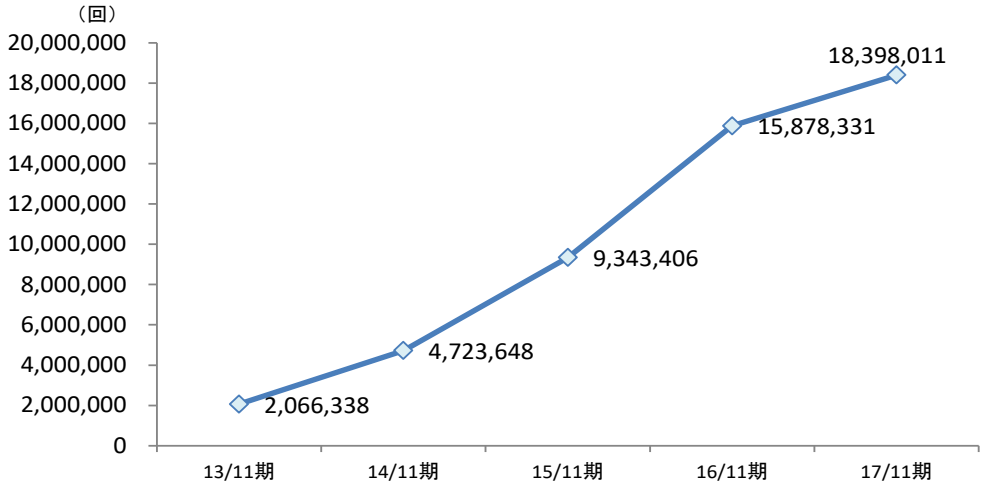
4）人材の定着までをトータルにサポートしていること
研修サービス「クックビズフードカレッジ」において、マナーやクレ

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

ーム対応、計数管理などの研修プログラムを提供し、人材の育成及び定着を支援している。

こうした特徴を活かした展開により、同社の運用する求人情報サイト「cookbiz」の閲覧数、訪問者数、登録者数は順調に増加している。PV 数（ページビュー、サイトの閲覧回数）は 17/11 期には 18 百万回を超えている（図表 4、18/11 期は開示なし）。

【 図表 4 】「cookbiz」PV 数の推移



（注）期中における PV 数の総数（18/11 期は開示なし）
（出所）クックビズ有価証券報告書、決算短信より証券リサーチセンター作成

＞ ビジネスモデル

◆ 求人企業から受け取る成功報酬などがクックビズの収益

成功報酬が人材紹介事業の収益となる。人材紹介サービスでは、求職者の就業開始時に求人企業から受け取る、年収に応じて決定される手数料が同社の収益となる。スカウトサービスも求職者の就業開始時に定額の手数料を求人企業から受け取るかたちとなっている。

求人広告事業では、上述のようにチケット制を採っており、求人企業に対してチケットを販売している。求人企業はチケットを購入し、チケットの有効期間内に求人広告を掲載する。1 単位 12 チケットで、1 単位の価格は 144 万円（消費税別）、1 チケットにつき 1 職種、1 カ月間の広告掲載を行うことができる。

「クックビズフードカレッジ」は、提供する研修内容や時間数に応じた受講料を企業から受け取っている。

「Foodion」は、現時点ではユーザー拡大を目的とした運営をしており、無料でサービスを提供している。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

◆ 売上原価と販売費及び一般管理費

同社の売上原価は、全て外注費である。外注費とは、求人原稿作成にかかる費用や他社のデータベース利用料で、19/11 期第 2 四半期累計期間（以下、上期）の原価率は 1.3%となっている。

販売費及び一般管理費（以下、販管費）の中心を占めるのは、広告宣伝費と人件費（損益計算書上の給料手当に福利厚生費、賞与引当などを含む総人件費）で、合計で 19/11 期上期の販管費の 77.8%を占めている。販管費率は 89.7%であった。

＞ 強み・弱みの分析

◆ SWOT 分析

同社の内部資源（強み、弱み）、および外部環境（機会、脅威）は、図表 5 のようにまとめられる。

【 図表 5 】SWOT 分析

強み (Strength)	・飲食業界の幅広いニーズに対応していること ・08年から運営するサイト「cookbiz」により、人材紹介や求人広告に関するノウハウを蓄積していること ・人材の採用から定着・育成までをトータルでサポートできる体制を構築していること
弱み (Weakness)	・特定人物（代表取締役社長）への依存度が高い事業運営 ・事業規模が小さいこと ・全国規模での認知度が高いとは言えないこと
機会 (Opportunity)	・外食産業の安定的な市場成長が見込まれること ・飲食業界において、人材不足が慢性化しており、人材紹介ニーズが高いこと ・上場による人材確保の容易化、知名度向上によるサイトの集客力上昇
脅威 (Threat)	・事業モデルを模倣される可能性があること ・競合先の増加による事業環境の悪化 ・自然災害や事故、外部からの攻撃や侵入、人為的ミスによりシステム障害が発生する可能性があること

（出所）証券リサーチセンター

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

＞ 知的資本分析

◆ 知的資本の源泉は、飲食業界のニーズに対応できる体制にある

同社の競争力を、知的資本の観点で分析した結果を図表 6 に示し、KPI の数値をアップデートした。

知的資本の源泉は、飲食業界に特化し、求職者と求人企業双方の幅広いニーズに対応できる体制を構築して組織資本を拡充してきたことにある。

【 図表 6 】知的資本の分析

項目		分析結果	KPI 項目	KPI 数値
関係資本	ユーザー	･求人情報サイト「cookbiz」利用ユーザー	･PV（ページビュー）数	18,397,011PV ※17/11期
	クライアント	･求職者	･飲食業での経験者（キッチン、料理長、ホール、パティシエなど）、未経験者	「cookbiz」の年間利用者300万人以上
		･求人企業・店舗	･飲食店、旅館・ホテル、ブライダル事業者、給食事業者等など	飲食関連の多業種が利用
	ブランド	･求人情報サイト「cookbiz」	･運営開始からの期間	11年
			･年間利用者数	300万人以上
			･求人掲載件数	30,000件以上
	ネットワーク	･主要都市に展開する営業施設	･本社（大阪）、名古屋、福岡など	全国6箇所
		･提携人材サービス事業者	･求人情報を同社サイトに掲載	特になし
		･ハローワーク（公共職業安定所）	･求人案件を同社サイトに転載	特になし
		･専門学校とのタイアップ	･飲食関連の専門学校とタイアップ	特になし
組織資本	プロセス	･サイトに登録された求職者を、コンサルタントを介して紹介（人材紹介事業）	･「cookbiz」を通じて各サービスを提供（検索機能の強化、サイトのデザイン・機能・ユーザビリティの改善、コンテンツの拡充などの取り組みを継続）	特になし
		･飲食事業者向けの求人広告をサイトに掲載（求人広告事業）		
		･人材の定着・育成のために「クックビスフードカレッジ」を運営	･人材紹介事業、求人広告事業と連動して運営することで顧客満足度の向上を図る	特になし
	知的財産 ノウハウ	･飲食業界の幅広いニーズに対応	･事業開始以来蓄積したノウハウ	12年
		･求職者及び求人企業の利便性を追求		
		･人材の定着までをトータルにサポート	･「フードカレッジ」開設からの期間	3年
人的資本	経営陣	･現代表取締役社長の下での体制	･在任期間	12年
		･インセンティブ	･代表取締役社長の保有	1,054千株（47.7%）※19年5月末現在
			･ストックオプション（取締役）	203千株（9.3%）
			･役員報酬総額（取締役）*社外取締役は除く	44百万円（3名）
	従業員	･企業風土(社員の声を活かす柔軟な組織運営)	･従業員数	201名 ※19年5月末現在
			･平均年齢	32.8歳
			･平均勤続年数	2.1年
		･インセンティブ	･知識向上のため「クックビズstudy」導入	特になし
			･年間MVPや社長賞などの表彰制度導入	特になし
			･ストックオプション	導入済み

（注）KPI の数値は、特に記載がない場合は 18/11 期か 18/11 期末のものとする
（出所）クックビズ有価証券報告書、決算短信、決算説明会資料、ヒアリングを基に証券リサーチセンター作成

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

＞ 決算概要

◆ 19 年 11 月期上期決算概要

19/11 期上期の売上高は前年同期比 24.6%増の 1,460 百万円、営業利益は同 129.5%増の 132 百万円、経常利益は同 119.9%増の 132 百万円、四半期純利益は同 259.5%増の 82 百万円であった（図表 7）。

【 図表 7 】上期決算及び通期計画 （単位：百万円）

	18/11期 通期実績	18/11期 上期実績	19/11期 上期実績	前年同期比	19/11期 会社計画（B）	進捗率 (A) / (B)
売上高	2,503	1,172	1,460	24.6%	3,064	47.7%
人材紹介事業	1,629	779	924	18.5%	2,007	46.0%
求人広告事業	854	384	520	35.3%	1,027	50.6%
その他事業	19	8	16	98.1%	29	54.8%
売上総利益	2,465	1,150	1,442	25.3%	–	–
売上総利益率	98.5%	98.2%	98.7%	–	–	–
営業利益	132	57	132	129.5%	203	64.9%
営業利益率	5.3%	4.9%	9.1%	–	6.6%	–
経常利益	137	60	132	119.9%	205	64.6%
経常利益率	5.5%	5.1%	9.1%	–	6.7%	–
当期純利益	71	22	82	259.3%	124	66.0%

（出所）クックビズ決算短信および決算説明会資料をもとに証券リサーチセンター作成

人材紹介事業では、営業人員を増員して求人企業の新規開拓を強化した。また、登録者を増加させるため、利用者の特性に応じて集客方法を見直すなどの緻密なマーケティング活動に取り組んだ。18/11 期に行った大阪、東京、名古屋オフィスの増床や福岡オフィス、横浜オフィスの開設も寄与し、前年同期比 18.5%増収となった。採用に伴う人件費の増加や広告宣伝費の増加があったものの、売上増で吸収してセグメント利益は同 89.2%増となった。

同社は、「cookbiz」の集客力向上のため、プロモーション活動を積極化しており、19/11 期上期に実施したプロモーションは Web 広告の実施などである。

求人広告事業では、19 年 3 月から「販売パートナー」制度を開始した。これは、地方の飲食企業の求人が増加していることに対応するため、全国で販売パートナーを募り、求人広告営業の販売業務を委託する制度である。同社が拠点を置かない地域については販売パートナーが求人広告営業を受け持つことで、効率的に地方求人情報を充実させることが可能となる。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

また、同年 4 月からは定額型採用サービスである「クックビズダイレクトプラス」を導入し、商品ラインナップの拡充を図った。「クックビズダイレクトプラス」は、求人企業が同社のデータベース上の人材に向けた求人案内を、定額課金で人数制限なく送ることができるサービスである。こうした取り組みの効果で同 35.3%増収となった一方、積極的な採用を実施したことに伴う人件費の増加によりセグメント利益は同 22.7%減となった。

その他事業（研修サービスなど）は、研修コンテンツの拡充が寄与し、同 98.1%増収となった。一方、コンテンツ拡充に伴う費用の増加により 23 百万円のセグメント損失（18/11 期上期 33 百万円の損失）となった。

同社は上期の業績予想は開示していないが会社計画をクリアする結果となった模様である。通期業績予想に対する進捗率は、売上高で 47.7%、営業利益で 64.9%となっている。

＞ 業績予想

◆ 19 年 11 月期は大幅な増収増益を計画

19/11 期の会社計画は、期初予想通り売上高が前期比 22.4%増の 3,064 百万円、営業利益が同 53.6%増の 203 百万円、経常利益が同 49.1%増の 205 百万円、当期純利益が同 75.4%増の 124 百万円である。

セグメント別の予想売上高は、営業人員の増加や拠点拡充の効果により、人材紹介事業 2,007 百万円（前期比 23.1%増）、求人広告事業 1,027 百万円（同 20.3%増）、その他事業 29 百万円（同 51.5%増）となっている。

積極的な採用に伴う人件費の増加、ブランディング広告を含めた大規模な広告宣伝を行うことによる広告宣伝費の増加基調は続くものの、増収効果で吸収し、増収率を上回る営業利益の伸びを計画している。

株主還元に関しては、成長重視の投資を優先するという判断から、内部留保を優先して無配を続けており、上期決算公表時点では 19/11 期の配当予想額については未定としている。

◆ 証券リサーチセンターの業績予想

証券リサーチセンター（以下、当センター）では、上期実績を考慮し、19/11 期の業績予想を据え置いた。19/11 期の売上高は前期比 25.4%増の 3,140 百万円、営業利益は同 78.0%増の 235 百万円、経常利益は同 73.0%増の 237 百万円、当期純利益は同 109.9%増の 149 百万円と、会社計画を上回る水準を予想する（図表 8）。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

当センターでは、業績予想を策定する上で、以下の想定をした。

1）下期の事業別の売上高については、人材紹介事業 1,086 百万円（前年同期比 27.8%増）、求人広告事業 580 百万円（同 23.7%増）、その他事業 14 百万円（同 27.3%増）、通期では人材紹介事業 2,010 百万円（前期比 23.3%増）、求人広告事業 1,100 百万円（同 28.8%増）、その他事業 30 百万円（同 53.1%増）と予想した。人材紹介事業における成約平均単価は前期比横ばいと見込み、成約数の増加が増収に寄与すると想定した。求人広告事業では、求人掲載者数の増加が増収につながると想定した。

2）下期の売上総利益率は外注費の増加により前年同期比 0.5%ポイント悪化の 98.2%、通期では 18/11 期と同水準の 98.5%と予想する。

3）下期の販管費率は、積極的な広告宣伝の実施による広告宣伝費の増加を増収で吸収して同 1.0%ポイントの改善、通期では同 2.2%ポイントの改善を想定した。

3）従業員数は前期より 40 名増加の 231 名とした。これに伴い 19/11 期の人件費は 18/11 期より 220 百万円の増加の 1,283 百万円を想定した。

【 図表 8 】証券リサーチセンターの業績予想 （損益計算書） （単位：百万円）

	16/11	17/11	18/11	19/11CE	19/11E	20/11E	21/11E
損益計算書							
売上高	1,232	2,066	2,503	3,064	3,140	3,850	4,650
前期比	78.1%	67.7%	21.1%	22.4%	25.4%	22.6%	20.8%
事業別							
人材紹介事業	865	1,353	1,629	2,007	2,010	2,500	3,050
求人広告事業	364	694	854	1,027	1,100	1,310	1,550
その他事業	2	18	19	29	30	40	50
売上総利益	1,204	2,023	2,465	-	3,092	3,792	4,580
前期比	78.5%	68.0%	21.8%	-	25.4%	22.6%	20.8%
売上総利益率	97.7%	97.9%	98.5%	-	98.5%	98.5%	98.5%
販売費及び一般管理費	1,148	1,757	2,333	-	2,857	3,465	4,138
販管費率	93.2%	85.0%	93.2%	-	91.0%	90.0%	89.0%
営業利益	56	266	132	203	235	327	442
前期比	52.6%	370.8%	-50.2%	53.6%	78.0%	39.1%	35.2%
営業利益率	4.6%	12.9%	5.3%	6.6%	7.5%	8.5%	9.5%
経常利益	75	266	137	205	237	329	444
前期比	19.1%	253.3%	-48.2%	49.1%	73.0%	38.8%	35.0%
経常利益率	6.1%	12.9%	5.5%	6.7%	7.5%	8.5%	9.5%
当期純利益	51	171	71	124	149	208	282
前期比	-12.8%	230.0%	-58.5%	75.4%	109.9%	39.6%	35.6%

（注）CE：会社予想 E：証券リサーチセンター予想
（出所）クックビズ決算短信、決算説明会資料を基に証券リサーチセンター作成

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

＞ 中期業績予想

◆ 証券リサーチセンターの中期業績予想

同社は中期経営目標について、数値、期間を含めて公表はしていないものの、マッチング率の向上や掲載数の拡大、商圏の拡大などに注力し、持続的な事業規模拡大を目指す考えである。

当センターでは、良好な事業環境が続くなか 20/11 期以降も業績拡大が継続すると考えており、業績予想を据え置いている。20/11 期の売上高は前期比 22.6%増の 3,850 百万円、営業利益は同 39.1%増の 327 百万円、21/11 期の売上高は同 20.8%増の 4,650 百万円、営業利益は同 35.2%増の 442 百万円を予想する。

予想の前提は以下の通りである。

1）20/11 期の事業別売上高は、人材紹介事業が 2,500 百万円（前期比 24.4%増）、求人広告事業が 1,310 百万円（同 19.1%増）、その他事業 40 百万円（同 33.3%増）、21/11 期は人材紹介事業が 3,050 百万円（同 22.0%増）、求人広告事業が 1,550 百万円（同 18.3%増）、その他事業 50 百万円（同 25.0%増）と想定した。

2）売上総利益率は前期比横ばいの 98.5 %が続くと想定した。

3）従業員数は 40 名ずつ増加し、それに伴い人件費は毎期 220 百万円の増加を見込んだ。広告宣伝費も増加基調を見込むが、売上増により販管費率は年率 1.0%ポイントの改善を想定した。

＞ 投資に際しての留意点

◆ 個人情報の管理について

同社は、登録求職者に関する多数の個人情報を有している。個人情報保護については、「個人情報保護規定」を策定し、従業員に対する教育の徹底や、プライバシーマークの認定取得を行う等の情報管理体制の強化に取り組んでいる。しかし、個人情報流出に関しては一定のリスクがつきまとうことに留意する必要がある。

◆ 法的規制について

同社の事業を規制する主な法的規制として「職業安定法」がある。同社は「職業安定法」に基づく有料職業紹介事業者として、厚生労働大臣の「有料職業紹介事業許可」を受けている。有料職業紹介事業者として当該許可の欠格事由または取消事由に該当した場合には、許可の取消や業務の停止を命じられる可能性がある。

◆ 配当について

同社では、株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けている。しかし、現在は財務体質の強化と事業拡大に向けた投資が先

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

行するため、配当を実施していない。配当の実施及びその時期については現時点では未定である。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
一般社団法人 証券リサーチセンターは、本レポートの配信に関して閲覧し投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家個人においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家にあります。また、本件に関する知的所有権は一般社団法人 証券リサーチセンターに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。